

受賞製品 CLOSE UP

骨伝導イヤホン(2万円以上)

AVIOT
WB-E1M
¥23,870(税込)



ながら聴きでも高音質を追求

耳を塞がずに音を伝える「骨伝導」は競争の激しい分野ですが、そこへ「Openpiece Elite(WB-E1M)」と銘打ち、参入したAVIOTは、「WB-P1」に続く第二弾モデルでも練られた製品を出してきました。ダイナミック型骨伝導ドライバーにバランスド・アーマチュア(BA)型ドライバーを組み合わせた歪みの少ない中高域を実現。清々しく伸びやかなサウンドはアコースティックギターのような自然な響きの楽器にぴったりです。付属の指向性ECMブームマイクはピンポイントで口元を拾ってくれるから、騒がしい場所での音声通話もスムーズです。激しい動きでもずれにくい「モダンフィットデザイン」や、2台の機器に同時に接続可能なマルチポイント対応なども相まって、いろいろな場面で活躍しそうな一台です。(海上 忍)

DETAIL



ダイナミック型骨伝導ドライバーとBAドライバーの2種類を組み合わせたハイブリッド構成を採用。歪みの起きやすい中・高域をBAドライバーで補うことで、全帯域においてバランスのよい自然な音質を追求しています。



ブームマイクは着脱式。マイクは単一指向性ECMの採用により、外側からの音を軽減すると同時に、AIを活用したノイズキャンセリング機能の効果により、騒がしい場所でも自分の声をクリアに届けられます。なお、ブームマイクは「AC-BM1」として単品でも販売されます。

骨伝導イヤホン(1万円以上2万円未満)

AVIOT
WB-P1
¥15,950(税込)



普段使いにも最適な音漏れ抑制モード

ながら聴きイヤホン「Openpieceシリーズ」に新たにラインアップされたのが、骨伝導イヤホン「Openpiece Playful(WB-P1)」です。各部の硬度と表面素材を最適化することで、激しい動きでもずれにくく、長時間使用しても疲れにくくなりとなっています。複数端末と同時に接続できるマルチポイントにも対応。その音はダイナミック型骨伝導ドライバーによって深みのある低音域を確保、迫力ある音を楽しませてくれます。さらに「高音質モード」と「音漏れ抑制モード」が切り替え可能となっていて、人の多い屋外でも利用できます。音、使い勝手の両面で魅力ある製品です。(野村ケンジ)

Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン/ノイズキャンセリング(2万円以上2.5万円未満)

AVIOT
TE-J1
¥21,890(税込)



カスタムIEMに着想を得たTWS

シェルやノズルのデザインにおいて、マニアが好むカスタムIEM(インイヤーマニター)にインスパイアを受けた、LDAC対応の完全ワイヤレスイヤホンです。サウンドの面では、BAドライバーとダイナミック型ドライバーによるハイブリッド構成を採用。実際の音質も素晴らしい、金属ノズルと一体化されたBAドライバーが、透明感に溢れる美しい高域を奏で、また高度なANC機能による静寂との相乗効果により、ハイレゾの醍醐味を味わえるでしょう。TE-J1をベースに、アイナ・ジ・エンドさんがデザイン、音質を監修した「TE-J1-AiNA」もラインアップしています。(鴻池賢三)

Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン/ノイズキャンセリング(3.5万円以上4万円未満)

AVIOT
TE-Z1PNK
¥39,600(税込)



ピエール中野氏監修の旗艦TWS

凜として時雨のドラマーであるピエール中野氏が監修を手がける完全ワイヤレスの旗艦モデルです。ドライバー構成がユニークで、プラナー振動板採用ドライバーとダイナミック型を同軸上に近距離でレイアウトしています。また、カスタムIEMの技術を応用して金属製ノズルや積層造形シェルを採用するなど、音質と装着性の両面における徹底した追求もなされています。そこにピエール中野氏の音質調整が加わることで、目を見張るほどに鮮度感の高い音を実現しています。そのほか、アニメ「PSYCHO-PASS サイコパス」とコラボしたボイスガイドも要注目です。(野村ケンジ)

Bluetoothオーバーヘッド型ヘッドホン(6万円以上)

AVIOT
WA-Z1PNK
¥OPEN



空間再現の広さと低域が印象的

ピエール中野氏の完全監修による、ブランド初のヘッドホンが「WA-Z1PNK」です。平面磁界駆動型ドライバーを搭載し、LDAC対応のBluetoothワイヤレス仕様でありつつ、バランス駆動を含む有線接続にも対応しています。そのサウンドは、セミオープン型ならではの空間再現の広さと充実した低音が印象に残りました。その魅力はワイヤレスでも実感できますが、有線バランス接続に変えると抑揚が豊かになるなど、グレードアップを望めます。スマホと繋ぐのはもちろん、ヘッドホンアンプと繋いでじっくり聴くのもおすすめできるヘッドホンの傑作です。(折原一也)

豪華賞品が当たる! お楽しみアンケート実施中。携帯電話/スマートフォンから、今すぐアクセス! >>>



豪華賞品が当たる! お楽しみアンケート実施中。携帯電話/スマートフォンから、今すぐアクセス! >>>

